

〈第18回〉

東京旭川会総会
盛大に開かれる

〈平成 6 年10月18日／東京新宿・京王プラザホテル〉



第16号 平成 7 年(1995) 9 月 1 日発行

発行

東京旭川会 〒163-13
東京都新宿区西新宿6-5-1
新宿アイランドタワー10F
東京美装興業株式会社内
TEL.(03)5322-2725

編集

東京旭川会広報委員会

ふるさとの仲間が集う恒例の第十八回東京旭川会総会・懇親会は平成六年十月十八日午後六時から東京・新宿の京王プラザ・ホテルで開催された。

総会は本間敏弘幹事の司会で始まり、八木祐四郎会長が議長となり議案審議に入った。

第一号議案「平成五年度事業報告並びに決算報告、これについては別掲の通り報告があり、黒崎監事より適正に処理されているとの監査報告があり、全員異議なく承認した。」

第二号議案「平成六年度事業計画並びに予算案、別掲の通り提案があり全員異議なく承認した。これをもってすべての議案審議を終了し、午後六時十五分から懇親会に移った。」

加藤桂子幹事の司会で来賓が入場。八木会長が「一年振りに再会します。旭川からは坂東徹市長、糸川一之市議会議長始め多数の方が見えられました。テレビで見ま

すと旭川は雪が降り始め、冬の旭川という印象を強く受けます。坂東市長は任期満了とともに退任し次の選挙には出馬しないと聞いておりますが、永年のご苦勞に心より感謝致します。旭川会ももう少し沢山の方が集って盛大にしたいと思えます」と開会の挨拶を述べた。

このあとミス旭川、二階堂ゆかりさんから八木会長に花束が贈られた。

続いて坂東旭川市長から、二面下のような「サヨナラ挨拶」があった。

四期、十六年間にわたる市長在任、ご苦勞さまでした。土屋初代幹事から花束が贈られた。

このあと桑本平八事務局長から来賓紹介があり、糸川市議会議長の音頭で乾盃があり宴に入った。

会場には地元から贈られた馬鈴薯、南瓜、トウキビなど秋の味覚が並び、一年振りに会う知人、友人が互いの健康を確かめながらふるさと談義に花を咲かせた。

お待ちかねの抽せん会では武田陽子幹事の軽妙な司会で旭川往復航空券など豪華商品に大喜びするご婦人など会場は大いに盛り上がった。

会場の一隅には海産物の即売場も設けられ、市価の二、三割安い品が並んで好評だった。

最後に旭川観光協会会長金森耕三さんの万才三唱で午後七時四十分閉会した。

なお、五十嵐広三官房長官は出席を予定されていたが、国会開会のため残念ながら欠席した。



にぎやかに東京旭川会総会開幕（写真担当・中西浩毎日新聞写真部OB）



ミス旭川を迎えて、幹事の武田陽子さんご苦勞さまです



総会の会場には旭川関係のポスターがいっぱい



トウキビ、ゴシヨイモ、カボチャも並びました



食欲の秋、会場のスナップ

昨日(10月17日)は大阪で関西旭川会の第三回総会に出席。今日はここ東京旭川会の第18回総会に来ております。集った方々は旭川出身であることを誇りとし、故郷旭川を大切に思っています。皆さんが旭川にゆかりのある者として胸をはってここにいられていることに対し、敬意を表します。

ノーベル文学賞受賞の大江健三郎氏のご長男光さん作曲のCD収録は大雪クリスタルホールで行われたのです。全国有数の音響効果のよいホールなので、今後文化の世界に大きな力を持つことになるでしょう。また、永山農業高校の跡地には五つの文化的な施設を作る予定で、東京旭川会から寄贈の三浦白瑠画伯の絵をクリスタルホールから新しく作られる施設へメインとして移すつもりです。国の重要文化財の指定をうけている旧旭川偕行社の建物を旭川ゆかりの彫刻家中原悌二郎を記念する旭川

◆坂東市長◆ サヨナラ挨拶



マイクに向かいサヨナラの挨拶を送る坂東旭川市長(その前列左から矢野副会長、八木会長)

市彫刻美術館として開設されました。悌二郎の作品「女の顔」の原型が岡山県井原市から寄贈されました。この原型は悌二郎と親交のあった彫刻家・平櫛田中が保存していたもので、田中の出身地である井原市の美術館が所蔵していたものです。他にも井上靖記念館などつぎつぎに文化的施設ができていきますので、ぜひ観に来ていただきたい。

私は今期で市長は終りになりますが、どなたが市長になっても旭川は世界に一つしかない町、雄大な自然を持ち、人口36万の都市機能を持つ。冬は寒く夏は暑い。それが農産物を豊かにしています。また旭川は地震が少ない。年平均0.8回、風速も平均1.8メートルという安全な町です。世界に唯一一つの町を大切に、大自然に調和し発展する町作りに取り組んでいくでしょう。皆様のご健勝ご発展をお祈り致します。

菅原新旭川市長のメッセージ

東京旭川会では、旭川市東京事務所を通じて菅原功一新旭川市長に当会の会員あてのメッセージを求めたところ、早速次の通りの一文を寄せていただいた。

菅原新市長のメッセージ 昨年十一月、第二十一代目の旭川市長に就いて以来、平成七年度の国家予算編成に伴う要望並びに陳情、または新年早々からの本市の新年度予算の編成作業等、新しい経験の毎日を過ごさせていただいております。

私は、旭川市議会議員、北海道会議員の職務を通じ、一貫してさまざまな夢をまちづくりの反映し、明るく、美しく、活力ある旭川をつくりたいと考えて参りました。幸いにも旭川には、諸先輩の皆様が築きあげてこられた数多くの所産があり、これらを活用して、来るべき二十一世紀にふさわしいまちづくりへの努力を進めていく考えであり、東京旭川会の皆様の英知を郷土のまちづくりにお寄せいただけますよう、期待しております。

皆様の郷土旭川は、一月には厳しい寒さの日も数日続きましたが、今冬は比較的温暖に推移しており、積雪も例年よりは少ないように思われます。二月には恒例の「第36回旭川冬まつり」が開催され、近年特に「氷彫刻世界大会」に参加チームが増えつつあることは、旭川からの情報発信として有意義なことであり、今後大きく成長し、定着することを願っております。

ます。

また、現在は、国内外の選挙や市民一万人が参加する大会として春分の日に開催されます「第15回旭川国際バーサー大会」の準備に取り組んでおります。一方、人々の英知を集めてまちづくりへの取り組みを進める考えから、「市長室の開放」を行い、多くの市民の方々のご意見を私自身が直接聞かせていただいております。

旭川には「都市拠点開発」としてのJR旭川駅周辺の旧国鉄跡地の開発計画をはじめ、新しい時代に向けての各種の施策を展開しておりますが、これらを組み合わせ、国や道とも連携を図りながら、一定の地域の範囲にとどまることなく広い地域と交流する個性豊かな「旭川市」を形成することが使命であると考えております。

幸い今年は二年に一度の「郷土訪問の旅」が実施される予定でもあり、多くの会員の皆様方が来旭され、初夏の旭川を満喫していただくこととあわせ、この機会にまちづくりに多くの意見を聞かせていただき、首都圏における新鮮な情報を得ることができると楽しみにしております。

首都圏と旭川、中央と地方という考えから一歩進め、広範囲なネットワークの形成による旭川の役割を果たしていこうとの考えであります。皆様の健康と、郷土の発展のため、なお一層のご活躍をお祈り申し上げ、報告とご挨拶に代えさせていただきます。

菅原新市長

旭商同窓会で挨拶

旭商同窓会東京支部の創立第45回記念総会は四月十三日夕、東京・小石川の茗溪会館で開催、五十嵐広三内閣官房長官は緊急会議で欠席。旭川から新市長が出席、来賓代表として次の通り挨拶した。

「昨年十一月十三日、第二十一代市長に就任しました。早速五十嵐広三建設相(当時)からすぐにも上京しろと電話をいただきました。上京しましたところ、北海道二区選出の衆議院議員や旭川出身の建設省の皆さんに引き合わせていただきました。五十嵐先生は将来、社会党の委員長というものもおりますが、もし旭川から総理が生まれたら、こんなすばらしいことはないという方もおります。これがふるさとの声というものだろうと思います」



旭商同窓会東京支部総会のため上京した菅原新市長
(堀川和延氏撮影)

新市長に菅原功一氏当選



菅原新市長初登庁の朝
——拍手と花束で迎えられた

●菅原功一新市長略歴

昭和19年6月24日、旭川生まれ。同32年3月朝日小卒、同35年3月光陽中卒、同39年3月道立旭川商高卒。同44年道会議員秘書をへて衆議院議員秘書。同50年5月から旭川市議2期、同62年4月から道議2期、上川地方総合開発期成会会長など。三希子夫人との間に二女。趣味は歴史研究、映画、読書など。

坂東徹氏の退陣による旭川市長選挙は94年11月6日投票、即日開票の結果、前北海道道議の菅原功一氏が七万票を得て当選した。

当 菅原功一(無所属) 七〇、一二七票

次 波岸裕光(同) 四八、七四二票

高原一記(同) 四二、八〇七票

遠藤英徳(共産党) 七、一二四票



浅野寛関西旭川会
会長

関西旭川会の会員は百六十五人に上る。阪神淡路大震災の被災地、神戸、西宮、宝塚、豊中、芦屋、

近況 関西 旭川会

八木会長 JOC専務理事に選出される

本会会長の八木祐四郎氏（日本大学スキー部OB）は平成七年四月二十日のJOC（日本オリンピック委員会）総会で専務理事に選出された。このため東京美装興業会社社長は辞任、もっぱら長野冬期オリンピックへ向けて専念することになった。八木JOC専務理事は改めて

「雪の旭川から生まれたJOCの役員で冬のスポーツ界から初めての専務理事なので名誉であるとともに身の引きしまる思いです。就任後天皇陛下にもお目にかかりご挨拶申し上げました。精いっぱい敢闘しますので郷里の皆様もいっそうのご支援を」と語った。

大阪などにお住いの方も多いが、とくに大きな被害を受けた会員はいなかったらしい。この機会に会員の活動状況を拝見すると――

会長の浅野寛さんは大正十一年

旭川生まれ、中央小学校五年まで旭川暮らし。神戸経済大学（現、神戸大学）経済学部卒。材木業アサノの社長。同社は大阪・西心斎橋に本社を置き、旭川市緑町十七丁目に旭川工場をもつ。創業は明治四十年、旭川市宮下通とある。

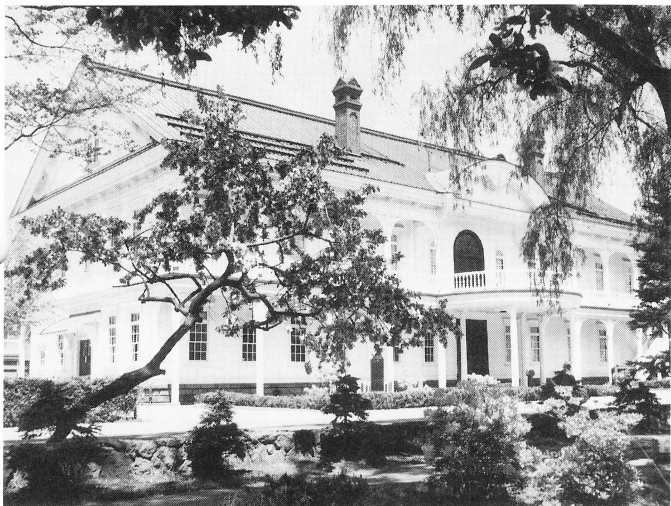
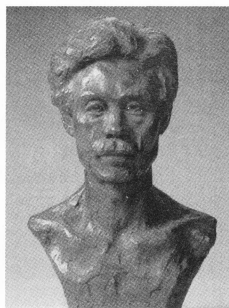
北海道材、南洋材を手広く扱っている。浅野社長は旧海軍中尉、全国木材組合連合会副会長、関東北海道クラブ副会長を勤め、平成四年秋の叙勲で勲五等瑞宝章受章。

副会長の島影恒治氏は大阪の目抜き通り心斎橋筋でおみやげ店「ふじや」を経営する。監事の窪田開拓氏は、大阪市北区中津、環境地質エンジニアリング会社の代表取締役で旭川北高から北海道大学工学部出のエンジニア。同じく監事、三上貞夫氏は明治四十三年生まれ・札幌師範（現、北海道学芸大）でビルの総合メンテナンス、

日研サービスの代表取締役。理事の浅野敏行氏は浅野会長の長男でアサノ副社長。同小坂茂紀氏は映像、音響の代表取締役で羽幌高校、東京電子学院卒。同島津良昭氏はテレビ大阪理事で旭川北高、立命館大工学部卒。同豊沢敬一郎氏は旭川西高、北大獣医学部出で神戸大学農学部教授。同藤原信也氏は北海タイムス大阪支社長で旭川東高、法政大卒。同成田良幸氏は材木輸入の三津橋産業大阪支店長で旭川西高出身。同吉田良一氏は読

ふるさとが育てた

不世出の芸術家



旭川彫刻美術館となった旧偕行社
右上は石井鶴三氏作の中原悌二郎像

NHKで全国放映された

中原悌二郎の生涯

売テレビ専務で旭川商高、明大卒。同関崎（旧姓荒瀧）マリ子氏は旭川高女から東京駿河台女学院出。同島影祐司氏は島影副会長の長男。

〔高校別の調査〕

大阪の関西旭川会の出身高校をみると――

- ▽旭川東高（旧旭中を含む）48
- ▽旭川西高26▽旭川北高13▽旭川商高24▽旭川工高20▽旭川農高6
- ▽旭川東女7▽女子高2▽北都商2▽旭川竜谷高2▽旭川工業4▽

旭大高3▽その他などとなっている。

〔七つの北海道ふるさと会〕

関西地方には関西旭川会のほか、「函館をおもてなす会」「関西伊達会」「関西深川会」「関西小樽会」「関西岩見沢会」「関西北見会」もあり、それぞれ「ふるさと活動」を続けている。

関西旭川会は平成四年十一月十九日、発会式をあげている。

彫刻家中原悌二郎とその作品を紹介するNHK教育テレビ3チャンネル「日曜美術館・生命の彫刻」を見た。東京造形大教授、三木俊治さんの旭川など現地ルポとつとつとした解説は、かえって中原の人間像をよく伝えていた。正確には一九九五年二月十二日の朝と夕の二回、放送されたのだが、東京の旭川人も数多くご覧になったのに違いない。

旭川が生んだ、というより明治二十一年、釧路生まれだから、釧路が生んで旭川が育てた芸術家である。幼い頃、旭川市内で雑貨商を営む、おじさんの養子となって忠別尋常小学校、のちの中央小学校、知新小学校を出た。ついで札幌中学を卒業して上京、浅草で手に入れたロダンの彫刻写真に魅せられる。



ふるさと出身の 新しい演歌歌手 水田 竜子さん

新しい演歌歌手、水田竜子(みずた・りゅうこ)に登場願う前に一つのエピソードを記そう。

演歌歌手と力士の国、北海道なだけに、わがふるさと旭川から様々な歌手が生まれている。

その一人F嬢は北の都旭川が中央に送り出した希望の星といっただけで、なにしろ星の数ほどいる歌い手さんがスーパースターの座を占めることはきわめて至難といえる。Fはオカッパ頭、濃い目のルージュをひいてさっそうと、訴えるように歌いまわった。

末は美空ひばりか、八代亜紀かなどと在京の旭川人も大きな期待を寄せて見守ったことはいうまでもない。当時、東京旭川会の世話役をしていた谷武雄さんが会の幹事連に声をかけた。「おい、Fを旭川会の総会に

呼んで一曲歌ってもらおうじゃないか。俺たちで応援しようや」

谷さんは若もののようによく語ってFの出演を交渉してみたのだが……。

「いかん、いかん、Fのギャラが高すぎて呼べないね」

一体いくらであったのか、いまとなつては、失念してしまつたが、びつくりするような高額だった。ふるさとの仲間が呼んでも、商売は商売ということらしい。幹事の間から「谷さん、とくに交渉したら安くしてくれろのでは」という声があがったが、ついに実現しなかった。そんな話を思い浮かべたので、水田竜子の場合も出演は難しいだろうと思ひながら、彼女の所属するプロダクション、六本木企画の常務取締役役に打診したところ、ギャラが安くても故郷の会



水田竜子さん

合だから、日程の都合がつけばよろしいとなる。水田竜子とプロダクションの皆さん、ありがとう。

人気というものは周辺が盛り上げるものだが、ご当人の側が盛り上げられるだけの何らかの努力をしなければならぬだろう。近頃、先輩歌手Fについても、この辺に何かがあったのでは。

さて、水田竜子の場合である。昭和52年1月4日、北見市の水田正明、陽子夫妻の長女に生まれた。二歳のおり、一家をあげて旭川へ移住、永山中学から道立東栄高校へ進んだ。

両親も歌にしびれる演歌好き。竜子も小学四年でカラオケ団体「大雪山演歌連峰」に入会してノドをきたえた。いろいろ道内各地のカラオケ大会に出演して優勝をさらった。92年、文化放送の「スターは君だ!」で第18回

グラントチャンピオン賞、93年NHK「のど自慢」でグラントチャンピオン賞を勝ちとり、六本木企画にスカウトされた。演歌一本に生命をかけて東栄高校を一年、十六歳で中退して上京。「のど自慢」で歌ったのは「土佐のおんな節」でこれはいわゆるド・エンカの類。94年3月、NHK新人歌謡コンテスト入賞、この月旭川市民文化会館でデビ

ュー・コンサートを開いた。さらに同年6月、日本有線放送大賞上期新人賞、同年7月、メカポリス歌謡祭最優秀新人賞、同年12月、第36回日本レコード大賞新人賞と日本有線大賞下期新人賞と、歌謡賞を次々とさらった。

身長166、体重48、B85、W63、H86、ボーイッシュなマスク、演歌歌手といえはすぐ和服を連想させるが「私の場合、ステージは洋服で新味を出したい。水前寺清子さんタイプの歌手にと思います」という。もつとも好きな歌手は坂本冬美、杏里、チューブ。チャーム・ポイント口、好きな色は原色、好きな花はカスミ草、好きな食べ物、おすし、ジャガイモ、ハンバーグなど。95年に入って「北海一番船」(里村竜一詞、美樹克彦曲)を売り出し中。いまは六本木企画の重役さん方に部屋住みの身分だが、大きく開け旭川の花——。(Z)

北海一番船

一、北のオオー 北の港は
雪雪 雪が降る
海猫が波止場で 鳴いて船を待つ
春よ 早ヨ来い
沖の彼方に 流水消えりや
鮭の季節だ 北洋船だ
海は男の心の故郷さ

二、惚れてエエー 惚れてみたって
春 春 春が来りや
辛い別れの 風が海に吹く
可愛いお前が
泣いて棧橋 駆けだす姿
見たくないから 黙って行くぜ
船はヤン衆の 命だ恋女房

たまたま知りあったロダン門下の萩原宗衛からロダンの人柄、創作の様子などを聴きます。傾倒、それまでやっていた油絵を止め彫刻に転向する。これが明治から大正にかけてのこと。旭川の養父では「仕送りをしないと帰ってくるだろう」と送金をしない。そこで弟二郎は、東京の谷中で牛乳配達をやったり、ペンキ絵を描いて口糊をしのいだ。

大正三年に体をこわし旭川に戻った。といつても大正時代の旭川で芸術では全く食えない。彼は忠別小学校の歴代校長の肖像画を描くなどしてわずかな収入を得ながら悶々とする。しばしば神楽岡に赴いて旭川や野面をじつと眺めていた。ここで「日本のロダン」中原は何を考えていたのか。彼が追ったのは、三木教授の解説では「絶対的な写真主義」というからさすまじい。大正七年に伊藤信子と結婚する。残された信子宛の恋文によると「信子」と書いた宛名の辺りに「ここにキッス」などと筆を加わえている。やはり芸術家らしい情熱の人でもあった。最後の作は彫刻家、平櫛田中をモデルにした未完成の彫刻である。弟二郎は大正十年、肺結核で三十四年の生涯を閉じるが、制作した彫刻はわずか二十五点、このうち十三点は「氣にいらぬ」として打ちこわしてしまつた。したがって残ったのは「乞食人間像」「若きカフカス人」など十二点だけ。この遺された全作品が旭川市彫刻美術館(旧偕行社)に展示されている。四十五分間に及ぶテレビ放送を

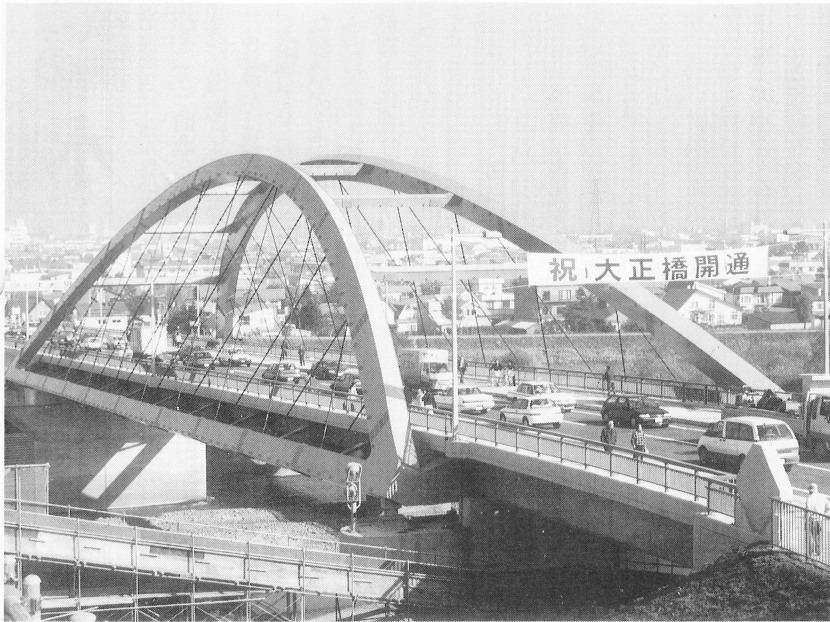
ふるさとニュース

「ふるさととは遠きに在りて…」と詩人は詠いましたが、今は帰ろうと思えばすぐ帰れます。しかし事情があつて帰れない方もおられます。ふるさとの懐かしいあの山、あの川、街のニュースです。



〈大正大橋架け替え〉

—平成 6 年秋—



開通した大正大橋

新大正大橋は 5 代目。過去昭和 5 年、昭和 18 年、昭和 31 年に架け替えられている。

旭川の南 6 条と神楽岡 1 条を結ぶ大正橋の架け替え工事が進み 10 月 28 日開通の運びとなった。橋の形からバスケット・ハンドル型というのだそうで明るいブルーの色も鮮やかに旭川に新しい息吹がまた一つ。大正大橋は、大正 2 年に神楽村(のち旭川市に編入)が木橋を架けたのが始まり。



見ていて、北の果て旭川にどうしてこうした個性の強い芸術家が生まれたのか。冬の寒さ、夏の暑さ、長い間、大陸性気候にさらされる、二つの型の人間が創られるようだ。一つのタイプは大自然の威

力の前に身をまかせて、むしろたゆたゆと生きる「大陸型人間」である。その逆が、大自然の猛威に向かつて敢然と戦おうとする逞しい「挑戦型人間」である。わが中原悌二郎はどうやら後者の部類に

属するようだ。それにしては自作を叩きこわし、この地上に僅か十二点しか残さなかった彼の個性に秋霜烈日という言葉を想わずにはおられなかった。東京の旭川人の皆さん、おりがあ

—平成 6 年夏—

〈春光台公園に木製遊具公園完成〉



完成なった「風の子館」

旭川市の春光台公園に、日本宝くじ協会寄贈の大型木製遊具の遊園地「風の子館」が平成六年夏お目見えした。屋根つきの遊具で「風のパイプ」「空のかくれ家」など子供たちの喜びそうな遊び器具がいっぱい。第一期工事に一億六千万円以上をかけたが、さらに拡充工

ればぜひともここを訪れ、わがふるさとが育てた不世出の芸術家、中原の遺作をじっくり味わっていただきたい。ロダンを追いつながらロダンではない独自の道を見出していったそ

れら作品の数々の間から、明治・大正の旭川が北風に乗ってヒョウ、ヒョウと聞こえてくるはずである。
(フンフィクション作家) 村井孝夫

事が進められた。

●「風の子館」の主な遊具

耳の望遠鏡、風のパイプ、空のかくれ家、ネット、ロープ、滑り棒、滑り台、ミラーパネル、レンジBOX、潜望鏡、フラッグポールなど。

永山市民交流センターオープン

市の支所から公民館、ホール、児童センター、音楽室などをひとまとめにした「永山市民交流センター」が永山3條19丁目、旧旭川農校跡地に94年10月、オープンした。

敷地2万2千平方メートル、鉄筋2階建て、延床面積約5千平方メートル、総工費約20億円。敷地内に旧永山戸長役場も復元された。地域のコミュニティー・センターとして機能を発揮しそうだ。

中央図書館オープン

旭川に「旭川市中央図書館」が94年10月、常磐公園にオープンした。鉄筋3階建て、延床面積5630平方メートル、総工費約30億円、蔵書50万冊、新聞30種など。末広、永山両図書館などとネットワーク化も図られている。

全日本綱引選手権大会、地元活躍!! BLチーム優勝

全日本綱引選手権大会が平成7年2月5日、千葉市の千葉ポートアリーナで開催、北海道から男子は十勝の「豊頃ストロングス」と女子は旭川から「パチンコ・ジャパン・レデース」と「旭川BLチーム」が出場。豊頃チームはベスト4に残った。女子の「パチンコ・ジャパン・レデース」は予選リーグで3勝2敗で3位となり、決勝トーナメントに進出できなかったが、「旭川BLチーム」は2年連続、5度目の全国優勝をとり、2月25日から開幕の第3回世界室内綱引大会に臨んだ。国内大会の成績は次の通り。

旭川 2-0 栃木矢板フレックスサワーズ

旭川 2-0 大分造園連コスモレデース

旭川 2-0 岩手荷軽部青春ママの会

旭川 2-0 青森横内フレン

「旭川市新人奨励賞」決まる

文化、技術、スポーツなどで活躍した若人に送られる「旭川市新人奨励賞」は次の三人に決まった。
▽上田奈津子さん 空手、20歳、竜谷高校時代から空手道に励み、日体大3年在学、94年12月、日本武道館の第21回全日本空手道選手

大雪山 命名由来

北の散人
(エッセイスト)

わがふるさとの大雪山は「タイセツザン」でなく「ダイセツザン」と読む。どうして大雪山はタイセツザンでなくダイセツザンなのか。東京旭川会の皆さんで、これについて正しく答えられる方はどのくらいいらっしゃるだろう。

実は私こと北の散人も、どうしてダイセツザンなのか知らなかった。ある日、散人は自宅で松原岩五郎著『最暗黒の東京』（岩波文庫）を読んでいた。松原は戦前、徳富蘇峰の率いた国民新聞の記者をしていた。間もなく同紙を離れ、もの書きの道に入った。今日でいうノンフィクション作家ないしルポ・ライターである。

彼は一八九五年（明治二十八年）九月に北海道へ渡り、毎日新聞（今日の毎日紙とは別のメディア）に「北征録」を連載、雑誌『太陽』や地元の小樽新聞に現地ルポや小説などを書いた。松原本人は大東京の底辺に息づく庶民の生活を描いて一躍有名となり、いまも岩波文庫に明治の貧民窟の生活がこまごまと伝

えられている。筆者の散人は、東京の貧民窟の調査のため『最暗黒の東京』をひもといたのだが、立花雄一という文芸評論家が同書の巻末に書いた、岩五郎についての次の一文に出くわして、おやっと思っただ。

小樽新聞に明治三十二年五月十六日以降、連載小説「大山脈」を執筆している。北海道最高峰ヌタカムウシユベが、松原岩五郎によって「大雪山」とはじめて命名されたのは、このときである。すなわち「山嶽中其高峻なるものを挙げれば大雪山（元名ヌタカムウシユベ）なり、旭川市街の東南十里に聳え海を抜くこと八千余尺、実は本道第一の高山にして」と第九編「北海道の部」に記された、その箇所が「大雪山」の山名の起りであった。

「大山」に山容が似ていたから、大山に因んで、その名を採ったという。

これでおわかりいただけたと思う。松原岩五郎は鳥取県生まれだから、わが大雪山を故郷の山、大山に因んで「ダイセツザン」と命名したのであった。

大雪山（旭岳）の標高は二二九〇メートル、大山は一七三二メートルで、いわれてみると両山とも山なみがきわめて似ている。松原が思わずダイセツザンと呼んだのはよくわかる。

おそらく大雪山の地元では、ウタリ言葉でいう山名のヌタカムウシユベは和訳すると大雪山になるくらいしか説明してないのだからまいか。

また岩五郎のいう「旭川市街」とは、わがふるさと旭川そのものを指すのだろうか。

ともあれ、新聞記者出身のもの書きが、約百年も前に大雪山と名づけた由緒はそれこそ大切にしたいもの。

終りに与謝野晶子の短歌を二首――。

大雪の山は見ねども先づ白し
神居古潭のえぞ桜ども

高きより大雪山の雪解をば石狩川にながす滝かな

手権女子個人組手で3位入賞。
▽齋藤比咲さん(アーチエリ、17歳。旭川北高在学、94年10月の国体少年女子個人で優勝。

▽佐藤和枝さん(柔道、14歳。永山中3年、94年8月、道中学校大会女子56キロ級で優勝、同月の全国大会で3位と有望な新人。

Uターン奨励金 制度創設

地域の活性化を図ろうと旭川市では「Uターン奨励金」制度を平成6年に創設した。

UターンやIターンなどで旭川に来る転職希望者を採用した事務所に移転費用を支給するもので、平成6年度には3件、約60万円を負担した。

すでにUターン情報コーナーで旭川市内に就職を決定したものは、平成2年(1990)計35人に達している。

旭川—大阪間 日帰り可能に

旭川—大阪間JASが94年9月から1日2便となった。これで旭川—大阪間は日帰りが可能となった。大人片道34100円、往復61560円はちと高い。

第18回東京旭川会

懇親会出席者

(順不同、敬称略)

▽来賓 旭川市長・坂東徹、旭川市議会議長・糸川一之、市議会

事務局長・佐藤幸信、旭川商工会議所副会頭・旭川観光協会会長・金森耕造、前旭川市議会議長・賀集一、道北地域旭川地場産業新興センター専務理事・松山輝雄、旭川市経済局長・松浦常雄、同商工部長・角谷寿幸、同企業立地室主幹・宮崎謙一、同企画調整部長・和馬昌幸、同調整課長・富所博信、同秘書課・菅原泰彦、ミス旭川・二階堂ゆかり、サッポロビール担当部長・人見哲夫、同渋谷尚史、ニッカウヰスキー常務取締役・中島行雄、日本エアシステム・佐伯泰、JR北海道プラザ東京支店・金本恵輔、同友成弘志、全日本空輸東京支店課長・藤堂利男、北海道倶楽部・山根昌武、北海道ふるさと会連合会会長・伊藤信人
▽会員 足立景子、穴口重郎、秋山武、今津寛、伊藤英子、伊塚清、伊藤一男、岩村久子、伊集院実、飯田昭宣、池田尚史、氏家一衛、梅原音二、海老澤美智子、大城栄子、大久保藤次郎、大沢テル子、太田剛、小川礼子、小川誠、大西正、大村高久、折登昭三、金田英行、風間利、加藤辰雄、加藤桂子、笠原貞夫、亀井敏一、加藤大明、金子登、河端敏博、黒崎弘桑本平八、黒澤和代、小柳武二、木幡功、鴻上修一、小西栄一、佐々木憲一、佐々木雄一、佐々木京子、齊藤弘明、佐藤征司、齊藤有、島田実、島田瑞子、島田嘉明、島田ミエ子、島礼弘、上西治夫、須藤智恵子、杉山恵子、杉山俊朗、末木貴茂、鈴木歌子、関晃、関口緑、竹村政芳、武田陽子、高橋文子、高野哲男、高田保、高橋英治、高橋正夫、高橋均、田中国夫、高氏

一也、高畑敏、谷越雄三、土井磨智子、豊田和郎、土屋好史、土屋初代、中山豊昭、中本和子、中田孝、中村敏江、中井律子、中島信、中嶋スミ子、長瀬汎、永田涼子、幸子ヘデン、野瀬ミツエ、西田育子、西原美佐子、西村明、花輪音三、花輪元治、原公朗、橋本恵美子、坂東幸子、坂東勝利、長谷美代子、長谷孝子、荻野敏夫、長谷川健一、坂東宗光、橋本勝子、橋本裕子、橋本新治、広野貴之、引地康博、平野雅甫、日置守一、古畠誠一、藤野秀雄、福原博子、本間敏弘、堀川和延、堀江秀明、星野恭子、松原利治、松原益子、松永茂、増宮和枝、松島島、牧野哲雄、柳沢滋、御手洗正夫、南榮二、三浦希世子、造酒多津男、宮森信之、南むつ子、三浦規、宮川輝子、三田修一、村本敏昭、森陽一、森喬伸、八木祐四郎、矢野正康、山本正純、山口道弘、安井規雄、山口公雄、永田徹、横川正市、横峯昇、横山秀夫、吉崎与一、阿部勝一
▽平成五年度決算
(五・九・一六・八・三一)
(収入の部)
繰入金 六一四、四八三円
年会費 二二六、〇〇〇円
懇親会費 一、一七〇、〇〇〇円
名簿売上代 一、〇〇〇円
寄付金 二〇五、〇〇〇円
雑収入 一、二七一円
合計 二、二二七、七五四円
(支出の部)
懇親会費 一、三二二、〇九五円
通信費 二八、三九六円
会議費 八七、八一三円
交際費 六二、〇〇〇円

雑費 四、五二一円
手数料 六一一円
繰越金 七二二、三一八円
合計 二、二二七、七五四円

事務局日誌

◎5年9月14日 北海道ふるさと会連合会役員会出席▽5年10月4日 行事委員会▽5年10月8日 総会案内状発送▽5年10月14日 会計監査▽5年10月20日 第1回

編集後記

▽阪神淡路大震災。心配になって、関西旭川会の会長・浅野寛さんに問い合わせの手紙を出した。特に会員の皆さんに被害はなかったようだが、新聞、テレビなどで伝えられる惨状は予想以上のもの。中米のコスタリカから「日本の皆さん、こちらへ移住を」とのすずめもあつたそうだが、よく眺めるとコスタリカ自身も地震国ではどこへ行っても同じこと、その後近くのコロンビアでも地震があり死者二百数十人とか。してみると、ほとんど地震のない旭川は天国。▽演歌の新人、水田竜子をとあげた。スターになるには才能、努力に加えて運も必要だろう。としたら、あとは運否天賦ということになる。この業界、浮き沈みが激しい。東京旭川会の皆さん、せいぜいご声援を。彼女のCDなど大いに買ってあげて下さい。▽生涯、ロダンを追いつながら独自の自分の道を見出したという中原悌二郎をテーマとしたドキュメントがNHKに登場した。詳しくは本誌の通りだが、こうしたタイプの鉄のような哲人はやはり北国

幹事会▽10月26日 京王プラザホテルとの打合▽5年10月30日 実行委員会▽5年11月1日 第17回総会懇親会
◎6年1月22日 北海道ふるさと会新年交礼会出席▽6年2月25日 第2回幹事会▽6年4月9日 北海道ふるさと会連合会総会出席▽6年7月6日 第3回幹事会▽6年7月15日 会報編集委員会▽6年8月1日 名簿委員会

の旭川ならではの人材であつたろう。もつと伸びる芽を育てるものがあつていい。それにしても貧しさ、寒さ、肺結核と三拍子そろつた「北の寒都」のむかしであつたいつか旭川市の職員に「内地ではよく無名のおばあちゃんが一億円を公共に寄付したなどの例はあるが、わが旭川は？」と尋ねてみたら「ありません。せいぜい一千万円が前例としてあるくらいです」という。思い出すのは啄木の歌。「名のみ知れて縁もゆかりもなき土地の宿屋安けし我が家のごと」この宿屋、旭川駅前にあつた「北越旅館」らしいが、ご存知のむきはお知らせ下さい。
▽群馬県高崎市の古書店、名雲書店が明治三十六年の「旭川市街全図」を売り出している。仙台の三沢好吉という出版業者が製作して売り出した古地図の一枚もの。とくに何というこのないものだが、古書とあつて一枚三万八千円ナリ。世の中には地図マニアがいて貴重品扱いするそう。(Z生)
編集委員 田村昌士、大久保藤次郎、須藤智恵子、高橋文子、伊藤一男(順不同)